

平成 25 年度 第 1 回 JSL 研修【終了いたしました。】

第 1 回 JSL 研修会のご案内

第1回研修会は、「初めて JSL 児童生徒に関わる教員」を中心にした研修です。まず、JSL 児童生徒教育の基礎となる情報、理論を学んでいただきます。また、参加されるみなさまより少し先輩になる、日本語学級担当者のこれまでの取組、学級経営に関する考え、子どもたちへの思いを聞きます。その上で、少人数のグループに分かれ、経験豊かな講師を交えたディスカッションを通して、参加者が抱える課題への対応の方法を探っていきます。(第 1 回研修では、「JSL カリキュラム」を直接扱うことはいたしません)

日本語学級担当の先生方から「最初は何をどうしたらよいか、見当も付かなかった」というお話をよく聞きます。少しでもそうした先生方のお力になればと考え、研修を企画いたしました。悩みや情報を共有し、他の参加者の経験を聞くことで、明日からの指導へのヒントが得られるはずです。また、同じ立場で子どもたちに関わる先生方の横のつながりを作っていく場としていただければ幸いです。お忙しい時期とは存じますが、ぜひご参加ください。

【第 1 回研修会のご案内】

- 日 時 : 平成 25 年 5 月 11 日(土) 10:00 ~ 16:30
- 会 場 : 東京学芸大学 (小金井市貫井北町4-1-1)
- 参 加 費 : 無料
- 申込方法: メール(c-event(@)u-gakugei.ac.jp / ④ (@)を@に変えてお送りください)またはファクス(042-329-7722)で、東京学芸大学国際教育センター事務室宛に申込用紙をお送りください。申込用紙はホームページ([申込用紙](#))からもダウンロードできます。
- 申込締め切り : 5月1日(水)

分科会編成の都合上、できるだけ、5月1日(水)までにお申し込みください。その後はメール、お電話でお問い合わせください。

- お問い合わせ先:東京学芸大学国際教育センター 事務室

Tel. 042-329-7727

メール c-event(@)u-gakugei.ac.jp (④ (@)を@に変えてお送りください)
センターホームページ:<http://crie.u-gakugei.ac.jp/>

【プログラム】

国際教育センター・平成 25 年度第 1 回 JSL 研修
日本語学級初任者研修—まず知っておきたいこと—

日時:平成 25 年 5 月 11 日(土)10:00~16:30

場所:東京学芸大学 S 講義棟

全体進行: 見世 千賀子(東京学芸大学国際教育センター)

10:00 開会挨拶 池田 栄一(東京学芸大学国際教育センター長)

10:05 はじめに 菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)

10:25 講義1 「外国人児童生徒教育の課題」
吉谷 武志(東京学芸大学国際教育センター)

11:00 講義2 「学齢期の子どもの第二言語習得」
松井 智子(東京学芸大学国際教育センター)

11:45 分科会講師紹介
(11:50~12:50 昼食)

12:50 報告1 「外国人児童生徒の思い」
伊木 ロドリゴ(豊田市立 保見中学校)

報告2 「日本語学級担当者の役割」
小玉 祥史(北区立 西ヶ原小学校)

(13:50~14:00 休憩・移動)

14:00 分科会

コーディネーター: 今澤 悌 (甲府市立 新田小学校)

大菅 佐妃子(京都市教育委員会)

小川 郁子 (北区立 稲付中学校)

近田 由紀子(前 浜松市立 瑞穂小学校)

西村 綾子 (福岡市立 城浜小学校)

濱村 久美 (新宿区立 大久保小学校)

16:00 全体会

16:30 閉会

⑨:プログラムは暫定的なものであり、変更になる可能性もございます。

第34回 海外子女教育セミナー【終了いたしました。】

第34回 海外子女教育セミナー

「これからの海外子女教育と派遣教員の役割」

日時:平成25年5月25日(土) 10:00~16:30

会場:東京学芸大学合同棟1階大教室

対象:これから在外教育施設に派遣を希望する教員、在外教育施設派遣教員登録者、及び海外子女教育に関心をもつ方

主催:東京学芸大学国際教育センター

■■■プログラム■■■

9:30 開場、受付開始

10:00~10:10 開会の挨拶 池田 榮一(東京学芸大学国際教育センター長)

10:10~10:50 講演「海外子女教育の現状と課題」

神代 浩(文部科学省初等中等教育局国際教育課 課長)

11:00~11:50 講義「在外教育施設における授業づくり」

佐藤 郡衛(東京学芸大学国際教育センター 教授)

11:50～13:00 昼食

13:00～14:45 海外での実践報告

加藤 香代（前 ペナン日本人学校・教諭）

（現 川崎市立さくら小学校・教諭）

合田 芳弘（前 上海日本人学校浦東校・教頭）

（現 観音寺市立伊吹小・中学校・教頭）

池田 幸一（前 ロサンゼルス補習授業校・校長）

14:45～15:00 休憩

15:00～16:00 パネルトーク「海外での生活をめぐって」

（参加お申し込み方法）

申し込みは、氏名、ご所属、返信用のメールアドレスもしくは FAX 番号を明記の上、下記宛にメールか FAX にてお申し込みください。ご質問、ご不明な点につきましても、下記までお問い合わせください。詳細は随時ホームページに掲載します。

（お問い合わせ先）

東京学芸大学国際教育センター事務室

Email [c - event@u-gakugei.ac.jp](mailto:c-event@u-gakugei.ac.jp) FAX 042-329-7722

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 TEL 042-329-7727

国際教育センターURL: <http://crie.u-gakugei.ac.jp/>

**平成 25 年度 JSL サテライトセミナー・イン島根(1)
【終了いたしました。】**

平成 25 年度 第 2 回 JSL 研修【終了いたしました】

国際教育センター・平成 25 年度第 2 回 JSL 研修
みんなで考えよう JSL カリキュラムの理念を生かした授業づくりのご案内

- 日 時 : 平成 25 年 6 月 22 日(土) 10:00 ~ 16:30
- 会 場 : 東京学芸大学 (小金井市貫井北町4-1-1) S講義棟
- 参 加 費: 無料
- 申込方法: メール(下記参照)またはファクス(042-329-7722)で、
東京学芸大学国際教育センター事務室宛に申込用紙をお送りください。
申込用紙([JSL②申込用紙.docx](#))はこちらからもダウンロードできます。
- 申込締め切り : 6 月 11 日(火)

* 分科会編成の都合上、6 月 11 日(火)までにお申し込みください。

その後はメール、お電話でお問い合わせください。

- お問い合わせ先:東京学芸大学国際教育センター 事務室

Tel. 042-329-7727

MAIL: c-event☆u-gakugei.ac.jp (☆を@に変えてお送りください。)

◆ プログラム ◆

全体進行: 榊原 知美(東京学芸大学国際教育センター)

- 10:00 開会挨拶 池田 榮一(東京学芸大学国際教育センター長)
- 10:05 挨拶 神代 浩(文部科学省初等中等教育局国際教育課長)
- 10:15 趣旨説明 菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)
- 10:25 講義1「JSL 児童生徒教育の課題」 見世 千賀子(東京学芸大学国際教育センター)
- 10:45 講義2「JSL カリキュラムの考え方」 佐藤 郡衛(東京学芸大学国際教育センター)
- 12:00 分科会講師紹介
- 12:10~13:00 昼食
- 13:00~15:30 分科会 授業づくり

講師

市川 昭彦 (大泉町立 北小学校)

今澤 悌 (甲府市立 新田小学校)

大菅 佐妃子(京都市教育委員会)

小川 郁子（北区立 稲付中学校）

近田 由紀子（前 浜松市立 瑞穂小学校）

濱村 久美（新宿区立 大久保小学校）

傍土 輝彦（東京学芸大学附属世田谷中学校）

15:30～15:40 移動・休憩

15:40 全体会

16:20 第3回 JSL 研修にむけて 菅原 雅枝（東京学芸大学国際教育センター）

16:30 閉会

今年度、国際教育センターでは以下の予定で授業づくりに焦点を当てた研修を実施いたします。

第2回 JSL 研修会 : 6月22日(土) 10:00～16:30

第3回 JSL 研修会 : 10月12日(土) 10:00～16:30

第2回では、文部科学省が開発した JSL カリキュラムについて、講義を通してその基本的な考え方を、講師の指導による授業づくり分科会を通して授業の組み立て方を学びます。ぜひご参加ください。

「授業づくり」の研修(第2回、第3回)は連続して受講されることをお勧めいたします。

平成25年度 JSL サテライトセミナー・イン浜松(1) 【終了いたしました】

平成25年度 JSL サテライトセミナー・イン島根(2) 【終了いたしました】

～JSL カリキュラムによる外国人児童生徒教育～
初めてでもわかりやすい JSL カリキュラム

【日時】2013年9月14日(土) 9:30 ～ 16:50 (受付 9:00)

【会場】島根大学(松江キャンパス)教育学部棟2階 25 番教室

【参加お申し込み方法】

申し込みは、氏名、ご所属、返信用のメールアドレスもしくは FAX 番号を明記の上、件名を「サテライトセミナー島根申込」として、下記宛にメールか FAX にてお申し込みください。ご質問、ご不明な点につきましても、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

東京学芸大学国際教育センター事務室

Email infocrie@u-gakugei.ac.jp FAX 042-329-7722

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 TEL 042-329-7727

【申込み〆切】 2013年9月9日(月)

【受講料】 無料

【詳細】[こちらをご覧ください](#)(PDF ファイルで開きます)

第14回外国人児童生徒教育フォーラム【終了いたしました】

東京学芸大学国際教育センターでは、平成25年10月5日(土)に第14回外国人児童生徒教育フォーラムを開催いたします。

日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導のあり方に関する検討会議の報告を受け、文部科学省は平成26年度から「国が示す一定の要件を満たす日本語指導を行う場合には、『特別の教育課程』を編成・実施することができるようにする」という方針を示しました。日本語指導が学校教育の一環として行われることの意義はどこにあるでしょうか。また、このシステムを十分に活用するために学校や指導者は何をする必要がありますでしょうか。

今回のフォーラムでは、午前中に文部科学省、検討会議委員の方々から「特別の教育課程による日本語指導」の導入の背景や実施の要件などについてお話をうかがいます。午後は、教育現場で「特別の教育課程」を実施するにあたり考えられる課題について、教育委員会、日本語学級担当者、公立学校長を交えてパネルディスカッション、フロアの皆様との議論を通して考えていきたいと思います。

「特別の教育課程による日本語指導」を考える

日時 : 2013年10月5日(土)10:00~16:30

場所 : 中野サンプラザ 8階研修室2

◆ プログラム ◆

9:30 受付

10:00 開会

10:00～10:05 開会挨拶 池田 榮一(東京学芸大学国際教育センター長)

10:05～10:15 趣旨説明 菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)

10:15～10:50 帰国・外国人児童生徒等に対する文部科学省の施策について

河村 裕美(文部科学省初等中等教育局国際教育課)

10:55～11:40 「特別の教育課程」の編成と実施について

佐藤 郡衛(東京学芸大学国際教育センター)

11:40～12:00 質疑

12:00～13:00 昼食

13:00～13:40 報告:日本語指導が必要な児童生徒の指導の計画を考える

築樋 博子(豊橋市教育委員会)

13:40～15:15 パネルディスカッション

河村 裕美(文部科学省初等中等教育局国際教育課)

佐藤 郡衛(東京学芸大学国際教育センター)

築樋 博子(豊橋市教育委員会)

今澤 悌 (甲府市立新田小学校)

徳成 晃隆(福岡市立城香中学校)

進行:菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)

15:30～16:30 全体討議

16:30 閉会

定員 :60 名

お申し込み:東京学芸大学国際教育センター事務室

メール c-event@u-gakugei.ac.jp Fax.042-329-7722

お問い合わせ:東京学芸大学国際教育センター事務室 042-329-7727

平成 25 年度 第 3 回 JSL 研修【終了いたしました】

平成 25 年度第 3 回 JSL 研修会

みんなで共有しようーよりよい実践に向けてー

東京学芸大学国際教育センターでは今年度 2 回の JSL 研修を実施いたしました。その中で繰り返し言及されていたのが、日本国内にいる JSL 児童生徒の多様さと、子どもたちの実態に合わせて授業を組み立てる重要性です。JSL 児童生徒教育で大切なのは、知識を基に実際に授業を作り実践してみること、そしてそれを振り返ってみることだと考えております。

そこで、第 3 回 JSL 研修会は、参加者が持ち寄った実践、指導案、教材をもとに、講師を交えてディスカッションをする形の研修を企画しました。お互いの実践から良いところ、取り入れられるところを見つけ、さらによりよい実践を目指しましょう。

皆様のご参加、お待ちしております。

平成 25 年度 第 3 回 JSL 研修会

日時 : 平成 25 年 10 月 12 日(土) 10:00 ~ 16:30

場所 : 東京学芸大学 S 講義棟 ([東京学芸大学へのアクセス](#))

参加費: 無料

内容 : 実践紹介、参加者の報告、ディスカッション、講師からのアドバイス

※実践報告では、小学校での取り出し授業(教科指導)、中学校の進路指導と日

本語指導を統合させた実践のご報告をいただきます。

定員 : 30 名

お問い合わせ:東京学芸大学国際教育センター事務室 042-329-7727

第 3 回 JSL 研修会 お申し込み方法

第 3 回研修会は、当日ご紹介いただく内容によってグループの編成を行いますので申込用紙および「報告の概要」をご記入の上、メールまたは Fax. で東京学芸大学国際教育センター事務室にお申し込みください。

メール:c-event@u-gakugei.ac.jp Fax.:042-329-7722

申し込みの締め切りは 10月6日(日)とさせていただきます。

なお、概要をご記入いただいていないお申し込みはお受けできません。あらかじめご了承ください。

■参加申込用紙 [H25JSL③申し込みフォーム.docx](#)

【お申し込みフォームの記入について】

・ 対象とした子ども

年齢が異なる複数の子どもたちを対象とした授業の場合は「その他」をお選びください。特定の子どもに焦点を当てて授業等を計画した場合はその子どもの学年で結構です。

・ 授業

「日本語指導」が中心か、特定の教科内容を意識したものか、でお選びください。

・ ご報告の内容

実施した授業の様子、これから行う授業の指導案、教材などについて、当日分科会でお話しいただく内容を簡単にお書きください。「普段こんな授業をしているが、もう少し子どもが自主的に活動できる授業をしたい」「こんなに工夫しているのに子どもがやる気にならない」など「一言」コメントがありましたらぜひお書き添えください。

「今回初めて参加したい」という方、現在実践の場をお持ちでない方もご参加いただけます。過去の授業事例や教材、子ども像を想定して作成した指導案のほか、ご自身が見た JSL 児童生徒に対する授業のご報告でも構いません。「どのような子どもを対象にした授業で、どのような工夫がみられたか。自分だったらどんな展開にしたか」などをお話してください。

◆ プログラム ◆

10:00	開会	全体進行： 榊原 知美(東京学芸大学国際教育センター)
10:00~10:05	開会挨拶	池田 榮一(東京学芸大学国際教育センター長)
10:05~10:15	趣旨説明	菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)
10:15~11:00	授業実践報告 1	宮廻 祐子(出雲市立塩冶小学校)
11:05~11:50	授業実践報告 2	小川 郁子(北区立稲付中学校)
11:50~12:00	分科会講師紹介	
12:00~13:00	昼食	

13:00～16:00 分科会 実践報告その他

講師:

市川 昭彦 (大泉町立 北小学校)

今澤 悌 (甲府市立 新田小学校)

小川 郁子 (北区立 稲付中学校)

近田 由紀子 (前浜松市立瑞穂小学校／大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

濱村 久美 (新宿区立 大久保小学校)

他

16:00～16:10 休憩 & 移動

16:10～16:30 全体会

16:30 閉会

第5回 多文化共生フォーラム【終了いたしました】

「多文化児童のことばと文化の獲得 多様性に応じた就学前の支援と教育を目指して」

東京学芸大学国際教育センター 主催

子どもたちが言葉や文化を獲得するために、日常的な周囲の大人たちとのやりとりは欠かせません。乳幼児期に親が自分の母語を使って子どもとコミュニケーションをとることは、子どもが自分や相手の気持ちを理解し、表現できるようになるために不可欠です。反対に、幼児期に母語でのコミュニケーションの経験が十分ないと、子どもは就学後も感情をコントロールすることや集中することが難しくなり、学習の構えがうまく育たないことがあります。日本在住の多文化児童の育つ環境にも、そのようなハンディに陥る要素が少なからずあるようです。

そこで今回のフォーラムでは、わが国ではこれまで見過ごされがちだった多文化児童の母語発達の現状と課題をとらえ、文化的に多様な子どもたちの就学レディネスと生涯発達のために、教育関係者が「今すぐ何ができるのか」と「長期的には何をすべきなのか」について考えていきたいと思えます。我が国の現状を把握するとともに、移民の就学前教育に伝統を持つ海外の取り組みから学び、今後に向けた課題を共有したいと思います。ご関心をお持ちの方々にご参加いただけましたら幸いです。

■日時: 2014年1月25日(土)13:00～17:10

■場所: 東京学芸大学 S講義棟3階 303教室(小金井市貫井北町4-1-1)

■お申込み締め切り: 2014年1月17日(金)

■お申し込み・お問い合わせ先: 東京学芸大学国際教育センター 事務局

TEL 042-329-7727 FAX 042-329-7722

メール c-event@u-gakugei.ac.jp

◆ プログラム ◆

12:30 受付開始

13:00 開会の辞 池田榮一 (東京学芸大学国際教育センター長)

13:05 趣旨説明 松井智子 (東京学芸大学国際教育センター・教授)

13:20～14:00 「日本で育つ CLD 児の二言語能力とアイデンティティ-- 何もなくさない日本語教育を目指して--」 真嶋潤子 (大阪大学・教授)

14:00～14:30 「カリフォルニア州の多文化多言語児童の発達支援プログラムにおける試み」 下井田恵子 (アメリカ言語聴覚士学会)

14:30～15:10 「ペリー幼児教育計画から学ぶ—多文化における米国の「質の高い」就学前教育」 若林巴子 (米国ハイ・スコープ教育財団・研究部長)

—休憩—

15:20～15:45 指定討論「日本における「多様性に応じた保育」の意義と課題」 岩立京子 (東京学芸大学・教授)

15:45～16:10 指定討論「多文化社会における市民性の育成の観点から」 見世千賀子 (東京学芸大学国際教育センター・准教授)

16:10～17:00 パネルディスカッション コーディネーター 松井智子

パネリスト

真嶋潤子

下井田恵子

若林巴子

岩立京子

見世千賀子

17:00～17:10 閉会の辞 吉谷武志 (東京学芸大学国際教育センター・教授)

第7回 国際教育センターフォーラム【終了いたしました】

平成25年度 国際教育センターフォーラム

在籍学級での教科指導における外国人児童生徒支援
—その展望と教員の役割—

- 日時 : 2014年3月1日(土) 13:00 ~ 16:30
- 場所 : 中野サンプラザ **7階 研修室10** ※会場の階が変更されました
- 定員 : 80名(お申し込み受付順)
- 参加費: 無料
- 申込み・お問い合わせ先: 東京学芸大学国際教育センター 事務室
TEL. 042-329-7727 FAX 042-329-7722
メール c-event(@)u-gakugei.ac.jp ※(@)を@に置き換えてください。
- チラシ: <http://crie.u-gakugei.ac.jp/04event/140301.pdf>

【趣旨】

日本語を母語としない子どもたちへの教育が学校現場で「新たな課題」となって四半世紀、受入体制や初期の日本語指導については様々な取り組みがなされ、その共有も進んできました。一方で、こうした子どもたちの日本滞在は長期化の傾向を見せ、教科学習支援の重要性・緊急性が指摘されています。これまで、外国人児童生徒支援はその多くを「日本語担当教員」が担い、取り出しでの指導を行ってきました。しかし、すでに取り出しでの日本語指導が終了した子どもたち、また、日本生まれや幼少期来日で「日本語」の指導の対象とならなかった子どもたちを含め、外国人児童生徒が日本語母語話者とともに学ぶ学級での学習の在り方についても検討が必要であることは、外国人児童生徒教育関係者の意見の一致するところではないでしょうか。

今回のフォーラムは、「在籍学級での教科指導における外国人児童生徒支援」と題し、日本語母語話者と外国人児童生徒がともに学ぶ授業での支援を考えます。特に、実際に授業を作り、指導を展開する教員に焦点を当て、学級内の日本語力の差に配慮した授業を進めていくための工夫と課題を探っていきたいと思います。フォーラム前半は、共同研究プロジェクトの中間報告とし、メンバーによる在籍学級での教科指導実践をもとにお話しいたします。後半は、東京学芸大学の齋藤ひろみ先生をお招きし、「在籍学級での外国人児童生徒支援」についてコメントをいただくとともに、皆様とのディスカッションを通してどのようにして在籍学級での教科指導を進めていったらよいのか、在籍学級での教科指導を担当する教員をどのように支えることができるのかを考えていきたいと思っております。

ご関心をお持ちの皆様のご参加、お待ちしております。

【プログラム】

- 13:00 開会 司会 吉谷 武志(東京学芸大学国際教育センター)
- 13:00 開会挨拶 池田 榮一(東京学芸大学国際教育センター長)
- 13:05 趣旨説明「在籍学級での外国人児童生徒支援を考える」
菅原 雅枝(東京学芸大学国際教育センター)
- 13:25 事例報告①「教科指導における外国人生徒支援:高校国語科での授業づくり」
大沢 不二子(関東国際高等学校)
- 13:50 事例報告②「在籍学級での教科指導:日本語指導担当者と学級担任による二つの実践から」
大菅 佐妃子(京都市教育委員会)
- 14:15~14:25 休憩
- 14:25 事例から「誰にとっても「意味のある」授業にするために:主体的実践者としての教師へ」
南浦 涼介(山口大学教育学部)
- 14:45 コメント「在籍学級での学び合いを促す外国人児童生徒への支援」
コメンテーター:齋藤 ひろみ(東京学芸大学教育学部)
- 15:15~15:30 休憩
- 15:30~16:30 ディスカッション
齋藤 ひろみ(東京学芸大学教育学部)
大沢 不二子(関東国際高等学校)
大菅 佐妃子(京都市教育委員会)
南浦 涼介 (山口大学教育学部)
進行 菅原 雅枝 (東京学芸大学国際教育センター)
- 16:30 閉会